

飲食・土産

◆観る ◆体験する ◆買う ◆飲食する

中山道愛知川宿街道交流館 愛知川ふれあい本陣

大正15年建築の旧近江銀行 愛知川支店の建物と裏の民家を改築。この場所は江戸期の本陣跡にあたる。「情報発信施設」では、中山道愛知川宿の歴史や観光情報の発信、イベント等の開催を行う。和風喫茶「なごみ・カフェ」は、昔の町屋をイメージした外観で、落ち着いた雰囲気の中飲食を楽しむことができる。「体験交流・滞在施設」では、宿泊の提供のほか、各種講座の開催、会議や会合等への部屋の貸出を行っている。なお、毎月第3日曜はフリーマーケットも開催。

● 愛知町愛知川138-2 09:00~18:00
※体験交流・滞在施設は210名まで(予約受付は17:00まで)
● 第1月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始
※和風喫茶は毎週月曜(祝日の場合は翌日)
0749-42-2165



マルマタ(近江の漬物)

◆買 江戸時代文政11年4月に醤油の醸造をスタートし、現在は醤油、漬物の製造販売にて創業190年を迎えた。昔ながらの伝統を受け継ぐ老舗の味わいが魅力で、おすすめは「赤かぶら漬」。冷たい北風が吹き始める11月下旬、湖東地方一帯では古くから農家に伝わる「かぶら干し」の光景が見られ、湖東地方伝承の古法を活かした冬季限定の自慢の逸品。

● 愛知町愛知川11676 09:30~12:00
● 日祝(季節により変更する場合あり)
0749-42-3020



御幸餅商舗(和菓子店)

◆買 昭和3年(1928年)創業の餅屋さんで、地元近江米のもち米を使ったよもぎもちやにつきもち、お団子、いろいろを販売。店舗内にはつぎたてのお餅とじっくり炊き上げた餡の香りが漂い、食欲を誘う。



御菓子司 しろ平老舗(和菓子店)

◆買 1865年(慶応元年)、中山道愛知川宿沿いに創業し150余年となる和菓子店。和菓子に欠かすことのできない「もち米」をはじめ材料にはできる限り地元滋賀県産にこだわり続けている。さんかん大福は、甘さ控えめの白あんと甘露煮した金柑(宮崎県産)の程よい苦味・酸味がマッチした不思議なおいしさ。その他、びん細工手まりや湖東三山など、地域の歴史文化にちなんだ創作菓子も必見。



菜匠 吉福庵(和洋菓子店)

◆買 創業して25年、手作りこだわりの和菓子だけでなく洋菓子もあるお店。季節に応じたお菓子を販売し、地元食材を多く使い、地産地消を心がけた、月に2回折紙教室も開催。



たぬき煎餅(煎餅屋)

◆買 昭和3年(1928年)創業で東京麻布十番に本店をもつ煎餅屋。日本一の煎餅づくりを目指す職人の意気込み、「他抜(たぬき)」の名が付けられた。その関西支社(滋賀工場)が愛知町内にあり、江戸風味の煎餅をこの地で楽しむことができる。手間をかけて丹念に一枚一枚焼き上げており、醤油の香ばしい香りが食欲を誘う。



● 愛知町中宿51 8:00~17:00
● 祝日 0749-42-2354



近江商人亭(日本料理店)

◆食 「国登録有形文化財」指定された趣ある屋敷を活用した料亭。いにしへの近江商人屋敷をそのままに、閑静で、わびと気品に満ちたたたずまい。回遊式の美しい庭園名石を眺めながらのゆったりとしたひとときは、まるで自分が大正初期に遊んだような風情を感じさせてくれる。淡海の国で、時の流れに磨かれた伝統の湖魚料理や地元産の郷土料理の美味を楽しむことができる。



愛知川駅コミュニティハウス 一ふる愛知川

◆買 近江鉄道「愛知川駅」の駅舎内にある。町の観光情報、土産物が集まっている。滋賀県伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」は、この施設のみで購入可能。びん細工手まりをモチーフにしたストラップやお菓子も人気。また、構内にはギャラリーが併設され、さまざまなアート作品に出会うことができる。



季節の花・撮影スポット

◆観る

近江鉄道愛知川橋梁・みゆき公園

◆観 みゆき公園は、一級河川の愛知川や近江鉄道、国登録文化財で明治31年(1898年)建設の鉄道用トラス橋梁「近江鉄道愛知川橋梁」などが一望できる絶好の撮影スポット。春は公園内や愛知川橋梁の周辺が桜で彩られる。江戸期に歌川広重により描かれた浮世絵「木曾海道六拾九次之内恵智川」はこの辺りで描かれたと想像でき、公園内には「むちんばし跡」の石碑も見ることができる。



宝満寺

◆観 大きな本堂は近隣の道場を東めた寺として、堂々たる威風を感じさせる。参道には親鸞聖人御舊跡の石碑が建っている。明治12年に郡制が開始されると、宝満寺境内の庫裏を借りて愛知神崎郡役所が設置された。また、宝満寺では、春は紅梅、秋はハナノキが境内を彩る。特に紅梅は、かつて愛知川の氾濫で川を渡れなくなった親鸞聖人が、宝満寺に仮宿を持たれ、その際に聖人自らがお手植えされたと伝えられている。



八幡神社

◆観 社伝によると、その昔、聖徳太子が物部守屋との戦いに際して身の安全を祈願したところ、神託によりこの八幡神社に身を潜めた。その結果、無事難を免れることができたため、太子は田圃を奉納したと言われている。どっしりと構える本殿は、県の有形文化財に指定されており、春になると本殿に続く参道は桜並木で彩られる。



中山道愛知川宿ポケットパーク

◆観 中山道愛知川宿を示す石碑と「木曾海道六拾九次之内恵智川」の浮世絵を見ることができるよう、明治4年(1871年)郵便創業当時使用されていた書状集箱(ポスト)が周囲の景観等に合わせ設置されている。その他、「むちんばし」ができる由来も知ることができる。



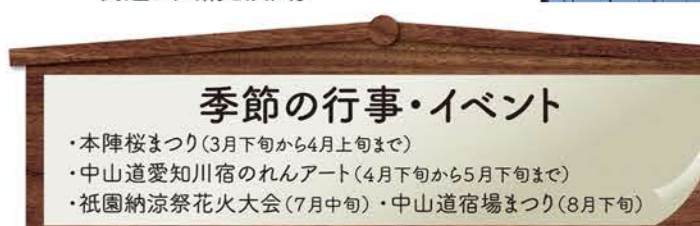
豊満神社

◆観 一般には「御旗さん」や「旗神さん」という呼び名で親しまれており、境内の竹を旗さおにすると戦いに勝つと言われ、源頼朝や豊臣秀次など多くの武将がこの竹を使ったと伝えられている。また、鎌倉時代に建立された四脚門は、国の重要文化財となっている。古くより「縁結びの神」として信仰されているとともに、近年は女性のスタイル向上にもご利益があるとされ、全国でも珍しい美人祈願も行っている。その他、木肌に触れると美肌のご利益があり、普段言えないことが素直に言うことができる「美人の木(告白の木)」や石をさすと縁結び・恋愛成就のご利益があると言われている「ハート石」など、パワースポットも見所(拝観無料)。



愛知高校・愛知高等養護学校

◆観 校門から校舎に続く通り道は、春は桜、秋はイチョウ並木が続く。また、愛知高等養護学校生の作業学習の一環で、パンや花の販売、テキスタイルの成果発表が不定期に開催されている(校内への無断立入り不可)。



季節の行事・イベント

◆本陣桜まつり(3月下旬から4月上旬まで)
◆中山道愛知川宿のれんアート(4月下旬から5月下旬まで)
◆祇園納涼祭花火大会(7月中旬)・中山道宿まつり(8月下旬)